

各論（みんなでつくるまちづくり）

み 1-1 市民主体のまちづくりの推進

①必要に応じて施策目標に「健康」応援都市の実現の視点を盛り込む。

【施策目標】

市民一人ひとりが地域の絆を大切に、**主体的まちづくり関わることでいきいきと元気に暮らせるよう、市民の活動の場や機会を充実させるとともに、地域全体で健康な生活を支え合う環境づくりを行います。**

【現状と課題】

- 東日本大震災を契機として、地域の助けあい・支えあいや絆の重要性が再認識され、地域コミュニティ活動やボランティア・市民活動への関心が高まっています。また、少子高齢化・核家族化の進行等に伴い、高齢者の見守りや子育て支援、健康寿命の延伸など、地域が抱える課題への対応には市民の主体的な活動や協力が必要となっています。
- 本市では、地域コミュニティ活動、ボランティア・市民活動と連携した市民主体のまちづくりを推進するとともに、コミュニティ施設の改修や公共施設予約サービスの導入など、地域コミュニティ活動、ボランティア・市民活動がしやすい環境づくりに取り組んできました。
- 今後は、地域を担う組織や団体との連携・協力体制の整備、施設機能の充実等により活動の促進を図るとともに、地域コミュニティの担い手の発掘や育成支援、世代間交流の促進等により、市民主体のまちづくりを持続的に展開するための仕組みづくりに取り組む必要があります。
- また、健康づくりへの関心の高まりにこたえ、市内で暮らす人が住み慣れた地域で生涯を通じて健康で心身ともに自立した生活を送ることができるよう、市民主体の健康づくりの取組を促進する必要があります。**

②必要に応じて現状と課題に「健康」応援都市の実現の視点を盛り込む。

- 地域コミュニティの活性化・再構築に向けては、地域コミュニティの中心的な役割を担う自治会・町内会などを通じて、生活に役立つ情報を市民へ提供するとともに、加入促進活動を進める必要があります。

【成果指標】

指標名	指標の算出方法 又は出典元	実績値		目標値
		平成 24 年度	平成 29 年度	平成 35 年度
「地域活動への支援など市民主体のまちづくりの推進」の取組に対する市民満足度	市民意識調査	15.2%	18.2%	23.0%
健康フォロー講座の取組における参加者数（年間）	健康応援団登録団体に対する調査等に基づき把握	二 （未実施）	●人	●人
自治会・町内会等の加入世帯数	●●課資料	1,8186 世帯	●世帯	20,186 世帯

③「健康」応援都市の実現に有効な指標を設定する。（総合戦略の KPI）

◆計画事業

No.	事業名称 （★加速化）	事業概要	担当課
1	市民まつり実行委員会への支援	西東京市の伝統、風土、地域文化の創造を高め、市民と市との協働により、人と人とのつながりをより大切にしたまつりを目指すことを目的とするとともに、東日本大震災により被災された団体等への支援や復興への願いを市民まつりを通して伝えていきます。	文化振興課
2	★地域コミュニティ推進事業の充実	「西東京市地域コミュニティ基本方針」に基づき、住民自治の担い手である自治会・町内会や地域協力ネットワークを育成・支援することで、地域コミュニティの再構築と活性化を図っています。	協働コミュニティ課
3	西東京ボランティア・市民活動センター事業への支援	社会福祉協議会が実施主体となり、ボランティア・市民活動センターを設置・運営し、相談や情報提供を行うとともに講習会等を開催し、市民のボランティア活動への理解と参加を広めています。また、市内小学校の総合的な学習の時間を用いて、福祉教育を推進しています。	生活福祉課
4	健康応援団の推進	●●●●●●●●	

④総合戦略の事業を取り込む。

⑤「健康」応援都市の実現を加速化するための事業（加速化事業）を設定する。

各論（「健康」応援都市の実現 加速化事業グループ）

⑥「健康」応援都市の実現の加速化に向け、一体的（施策横断的）に取り組む事業群を設定する。

「健康」応援都市の実現 加速化事業グループ

本市が掲げる「健康」応援都市の実現に向け、一体的な展開が効果的と考える事業を、戦略別に●つのグループにまとめ、組織横断的に取り組みます。

グループ1 健康・安心・いきいきと暮らせるまちをつくる

戦略：多世代の活力を活かして、まちを元気にする

○若い世代のライフスタイルの変化に対応する

結婚や出産を契機とした若い世代のライフスタイルの変化によって生じる様々な課題に対応し、将来を描けるようにします。

○健康維持・増進、健康寿命の延伸に取り組む

多世代にわたり一人ひとりが心身ともに健康でいきいきと暮らすことができるよう、保健医療・社会経済・居住環境などの様々な分野の改善を進めます。

○安全・安心、いきいきと活躍できる

安全・安心に暮らせる環境を整えるとともに、高齢期を迎えてもこれまでの知識や経験を活かし、活躍できるまちづくりを進めます。

【成果指標】

指標名	指標の算出方法 又は出典元	実績値		目標値
		平成24年度	平成29年度	平成35年度
健康フォロー講座の取組における参加者数（年間）	健康応援団登録団体に対する調査等に基づき把握	— （未実施）	●人	●人
●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●	●●	●●

◆計画事業（再掲）

No.	施策分野	事業名称 （★加速化）	事業概要	担当課
1	み1-1	★地域コミュニティ推進事業の充実	●●●●●●●●	協働コミュニティ課
2	み1-1	健康応援団の推進	●●●●●●●●	●●●●
3	笑2-1	健康づくりの推進	●●●●●●●●	●●●●

グループ2 まちを楽しみ、まちの良さを高める

戦略：地理的特性を活かして、まちの魅力を高める

○アクセスの良さを価値として活かす

「外出しやすい・立ち寄りやすい」といった本市の特徴を「まちの価値」としてPRするとともに、行政サービスへのアクセシビリティなどもあわせた「アクセスの良さ」をまち全体の魅力として活かします。

○地域にある資源を最大限活かす

農やみどりのフィールド、学習環境や市民文化といった本市の特徴と、存在している地域の資源を最大限活かして、まちの良さを高めます。

【成果指標】

指標名	指標の算出方法 又は出典元	実績値		目標値
		平成24年度	平成29年度	平成35年度
●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●	●人	●人
●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●	●●	●●

◆計画事業（再掲）

No.	施策分野	事業名称 （★加速化）	事業概要	担当課
1	●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●
2	●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●
3	●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●